

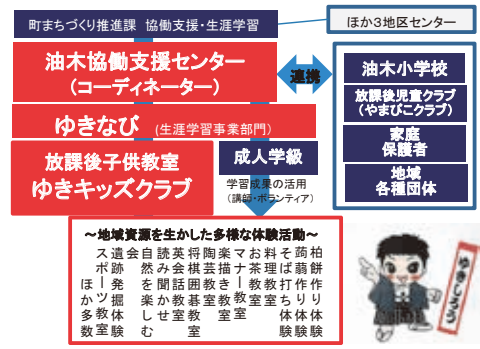
「ゆきしろろ」と油木を知ろう！ 郷土料理や遺跡発掘の体験を通して

広島県神石高原町	● 活動名	● 関係する学校名
	ゆきキッズクラブ	神石高原町立油木小学校

開始年度	平成 19 年度	学級数	8 学級	生徒数	59 人
放課後児童クラブとの連携					
一体型	連携型	(連携状況) <input type="checkbox"/> 毎回 <input type="checkbox"/> 定期的に <input checked="" type="checkbox"/> イベントがある時 <input checked="" type="checkbox"/> 活動場所を共有 (共有の活動場所) コミュニティーセンター	連携なし	子供の参加人数	24 人
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数	地域学校協働活動推進員の数	配置人数	実施場所	施設名：コミュニティーセンター 実施場所：研修室、調理室、和室
ボランティアの数	登録人数	属性	地域住民、自治振興会役員・社会教育団体役員経験者	学習活動の有無	無
参考 URL	http://www.jinsekigun.jp/ja/				

● 連絡先 神石高原町まちづくり推進課 ☎ 0847-89-3332

● 体制図



● 活動の概要・経緯

ゆきキッズクラブは、子供の豊かな体験活動と居場所づくりを目的に、平成 19 年度にスタート。本年度で 11 年目を迎える。活動は、油木協働支援センター（前油木公民館）がコーディネートしており、学校・家庭・地域の連携のもとで、地域における人と人のつながりを深めながら、子供たちが地域に愛着を持ち、地域の良さに気付くような活動や体験の場を提供している。体験活動の内容は、神石高原町でしかできない活動を多く取り入れており、先人が築き上げてきた豊かな自然、歴史、文化、人情味溢れる地域の良さを、地域の未来を担う子供たちに受け継いでいる。

放課後子供教室

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】
 地元特産物について学ぶ「こんにやく作り」、郷土の食習慣を体験する「そば打ち」、地域資源を生かした体験活動の「帝釈峡遺跡群発掘」といった、神石高原町でしか出来ない体験活動のほか、お茶教室（マナー教室）、絵本の読み聞かせ、サッカー・野球教室など、多岐にわたる体験活動を提供している。

特に、地域の特産品を活用した食育には力を入れており、地元女性会や地域住民を講師に招いた郷土料理の教室は好評である。この料理教室では、地元で採れた旬の食材を使用し、伝統的な調理方法で料理、食事するプログラムを行うことにより、子供たちは地域の食文化を体験的に学んでいる。

【実施にあたっての工夫】

- 地域資源の活用
 帝釈峡遺跡という地域の豊かな自然や、郷土料理などの地域文化を学習資源とすることを意識している。
- 地域協働支援センターとの連携
 センターで活動している地域住民に講師をお願いすることで、センターでの学習成果を、子供たちへの体験活動の提供に生かしてもらっている。
- 広報・情報発信
 毎月、「ゆきキッズクラブ」の行事予定や行事実施状況を協働支援センター便りや町のHP等で発信している。また、センターでオリジナルキャラクター「ゆきしろろ」（＝油木知ろう）君を新たに開発し、この「ゆきしろろ」を広報紙に登場させ、子供たちの活動の様子を生き生きと伝える工夫をしている。

● 事業を実施しての効果・成果

- 油木協働支援センター（前油木公民館）がコーディネートしているという利点を生かし、センターで活動している地域住民に「ゆきキッズクラブ」の活動への協力をお願いすることで、子供たちに多様な体験活動を提供することができている。
- センターで学ぶ地域住民と、ゆきキッズクラブで学ぶ子供たちの交流は、地域コミュニティの形成や活性化に大きな役割を果たしている。
- この活動を町全体に情報発信することで、地域ぐるみで子供の育てる機運を醸成しており、活動への協力団体、ボランティア数、子供の参加人数、全てが増加傾向にある。
- 地域の豊かな自然、文化、人材等を最大限に活用した事業展開により、子供たちの地域への理解や愛着が醸成されている。



帝釈峡遺跡群発掘体験



こんにやく作りに挑戦（地元特産物の体験学習）

ポイント

地域の特産品を活かした実践は全国の参考になる事例です。まさに「その地域ならではの」活動に取り組まれており、子供たちの地域愛を育むことに大きく貢献していると思います。